

# 経口フルオロウラシル系抗癌剤と ワルファリンの併用がPT-INRへ及ぼす影響

間瀬 広樹<sup>†1) 2)</sup> 溝 神 文 博<sup>2)</sup> 有 原 大 貴<sup>1)</sup> 川 端 康 次<sup>3)</sup>  
清 水 敦 哉<sup>4)</sup> 新 屋 智 之<sup>5)</sup> 北 俊 之<sup>5)</sup> 秋 山 哲 平<sup>1)</sup>

IRYO Vol. 75 No. 2 (162-164) 2021

## 要 旨

フルオロウラシル系抗癌剤とワルファリン (WF) の併用により, PT-INR (プロトロンビン時間国際標準化) の上昇をきたした2症例を経験し, 1症例で血中濃度が測定できたので報告する. (症例1) 上行結腸癌, カペシタビンとWF, オメプラゾールが併用された. PT-INRは2.58から6.53に上昇し入院. WFは, 服用12時間後が $1.1 \mu\text{g/ml}$ , 最終服用36時間後が $1.0 \mu\text{g/ml}$ であった. (症例2) 非小細胞肺癌, テガフル・ギメラシル・オテラシル配合剤とWF, セレコキシブが併用された. PT-INRは1.28から4.37に上昇した. 検体不足により症例2のWF血中濃度の測定はできなかった. 2症例ともフルオロウラシル系抗癌剤とWFの相互作用により血中濃度上昇を認めたと考えられた. 頻回のPT-INR測定に加え, 相互作用の影響を受けにくい直接経口抗凝固薬への変更を行うことも重要であると考えられた.

キーワード ワルファリン, フルオロウラシル系抗癌剤, PT-INR

## 緒 言

経口フルオロウラシル系抗癌剤のカペシタビン (Cap), テガフル・ギメラシル・オステラシル配合剤 (S-1) は, 各種癌に用いられている. 悪性腫瘍患者の深部静脈血栓塞栓症の合併率は高く<sup>1)</sup>, ワルファリン (以下, WF) は, 広く使用<sup>2)</sup> されている. CapもしくはS-1とWFは併用機会が多い薬物で, WFの作用増強の報告<sup>3) 4)</sup> があるが, WFの血中濃度測定した報告はきわめて少ない. 今回, フルオロウラシル系抗癌剤とWFの併用によりPT-INR

(プロトロンビン時間国際標準化) の著明な上昇をきたした2症例を経験し, 1症例でWFの血中濃度が測定できたので報告する.

## 倫理的配慮

症例1は国立長寿医療研究センターの倫理・利益相反委員会で承認 (受付番号No.706) 後, 患者同意後に残余検体を用いてWF濃度を測定した. 症例2は独立行政法人金沢医療センター倫理審査委員会で承認 (受付番号H30-028) 後, 患者同意後にWF濃

1) 国立病院機構金沢医療センター 薬剤部, 2) 国立長寿医療研究センター 薬剤部, 3) 同 消化器外科, 4) 同 循環器内科, 5) 国立病院機構金沢医療センター 呼吸器内科 †薬剤師  
著者連絡先: 間瀬広樹 国立長寿医療研究センター 薬剤部 〒474-8511 愛知県大府市森岡町7丁目430番地  
e-mail: himase@ncgg.go.jp  
(2020年1月27日受付, 2020年11月13日受理)

Effects of Oral Fluorouracil on the PT-INR Controlled by Warfarin in Patients with Advanced Cancer  
Hiroki Mase<sup>1)</sup>, Fumihiko Mizokami<sup>2)</sup>, Hiroki Arihara<sup>1)</sup>, Yasuji Kawabata<sup>3)</sup>, Atsuya Shimizu<sup>4)</sup>, Tomoyuki Araya<sup>5)</sup>, Toshiyuki Kita<sup>5)</sup>, Teppei Akiyama<sup>1)</sup>, 1) Department of Pharmacy, NHO Kanazawa Medical Center, 2) Department of Pharmacy, National Center for Geriatrics and Gerontology, 3) Department of Gastroenterological Surgery, 4) Department of Cardiology, 5) Department of Respiratory Medicine, NHO Kanazawa Medical Center  
(Received Jan. 27, 2020, Accepted Nov. 13, 2020)

Key Words: Warfarin, Fluorouracil, PT-INR